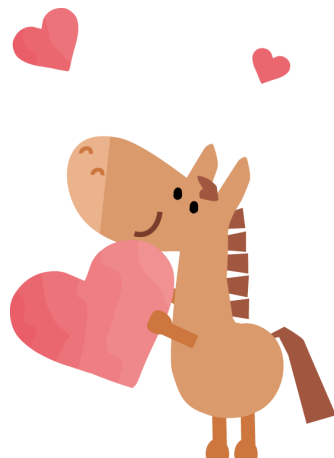


みなさん、こんにちは(^ ^)/

富山県は1月14日の県防災会議で、「最新のシミュレーション調査により、県内全域で震度7クラスの大きな揺れが起こる可能性がある」ことを示しました。その翌15日には、富山県東部又は岐阜県飛騨地方を震源地とした地震が続けて5回あり、「もしもの時」を身近に感じた方も多かったのではないのでしょうか。

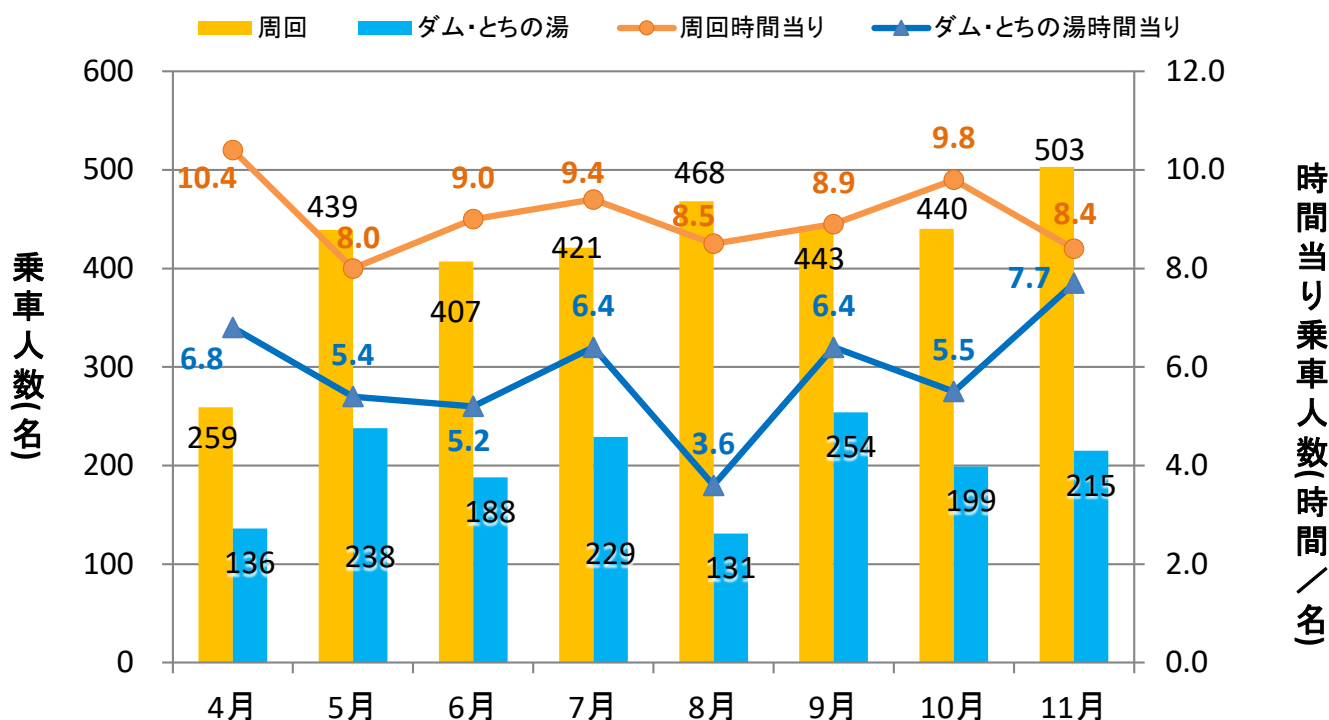
これまで比較的地震が少ないと思われてきた富山県ですが、地震はいつ、どこで起きても不思議ではありません。日々の暮らしの中で、改めて防災について考え、できる備えを少しずつ進めていくことが大切ですね。



令和7年度 EMU運行実績

今年度は、74日間656時間の運行で乗車人数合計は、4,970名でした。(昨年度:72日間585時間、5,471名) 時間当たり乗車人数の年平均は、温泉街周回コース 8.9名/hr、とちの湯コース 5.8名/hrとなりました。(昨年度:それぞれ11.2名/hr、6.8名/hr)

乗車人数及び時間当たりの乗車人数ともに、昨年度から減少しました。この原因としては、長年していただいた運転手さんが抜けられ、1～3年目の方々となり、乗車の声掛けが十分に行われていなかったためと思われます。



わたしたちの暮らしと地球温暖化

その89



2月は、暖房などでエネルギー消費が最も多い時期のため、国では省エネ意識を高める目的で「省エネルギー月間」としています。

家庭での具体的な取り組みを紹介します。

①室内温度は20℃を目安に

◇エアコンや石油ファンヒーターの設定温度を1℃下げるだけでも、エネルギー消費を大きく抑えられます。

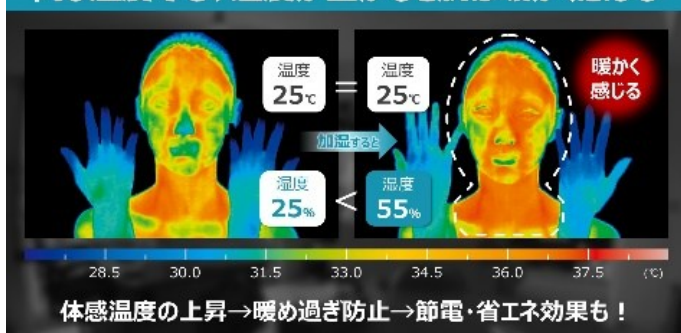
寒いと感じたら、暖房設定温度を上げる前に、1枚多く羽織ったり、首・手首・足首の「三つの首」をあたためてみましょう。

◇部屋に温度計・湿度計を置いて、室内の温度・湿度を「見える化」しましょう。同じ部屋に長くいると実際よりも寒く感じたり、あたたかく感じたりします。無駄な暖房使用を控えたり、逆に冷えによる体調不良にも気をつけましょう。

快適な湿度は、40～60%が目安とされています。左写真のように、同じ温度でも湿度が上がると肌は暖かく感じます。



同じ温度でも、湿度が上がると肌は暖かく感じる



体感温度の上昇→暖め過ぎ防止→節電・省エネ効果も！
出典)ダイキン工業ホームページ

②窓からの冷気を防ぐ

◇厚手のカーテンを閉める、すき間テープを張るなど、窓の対策が最も効果的です。

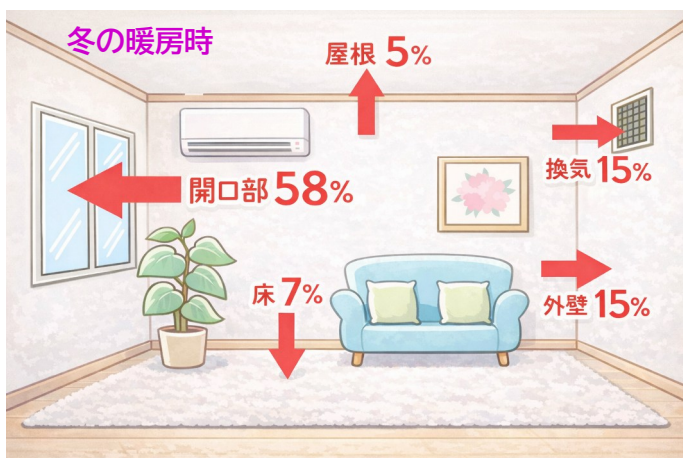
冬の暖房時、家全体のあたたかい熱の約58%は窓から流出していきます。複層ガラスや二重サッシのリフォームはさらに効果が上がります。

③家族で同じ部屋に集まる

◇各部屋の暖房を減らすことで、無駄なエネルギー消費を防げます。

省エネルギーだけでなく、光熱費の節約につながる家計へのやさしさ、見守りによる安全・安心、さらに心と体の健康を守ることにもつながる暮らしの工夫です。

(富山県デコ活推進員「地球温暖化防止活動推進員」:美香)



出典)(一社)日本建材・住宅設備産業協会データ



発行／一般社団法人でんき宇奈月

編集／一般社団法人でんき宇奈月 町野、水野

〒938-0282 黒部市宇奈月温泉633-1 大高建設(株)内 TEL 0765-62-1106

<https://www.denki-unazuki.net/>

ご意見ご感想お待ちしております！